

西海市地球温暖化対策実行計画（啓発用資料）

～脱炭素社会に向かうまち西海市～

西海市では2050年までにCO₂排出量実質ゼロをめざす「ゼロカーボンシティ」へチャレンジすることを表明しました。脱炭素に向けた“西海市らしい”まちづくりをさらに推進するためにも、地球温暖化対策について長期的な方向についての将来の社会像を描きます。加えて、市内で排出されるCO₂の長期的な削減目標を定め目標達成のための基本的方針や具体的な施策を示します。



子どもたちが遊ぶ西海市の自然を次世代へ

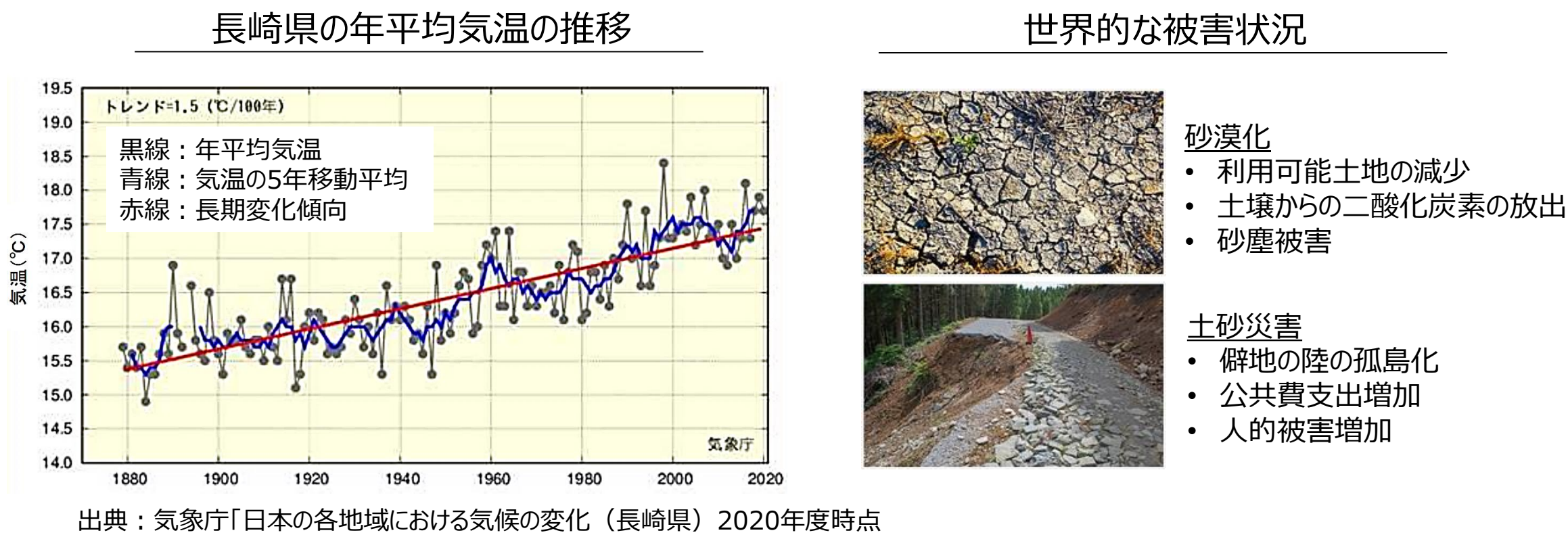
● 西海市における地球温暖化対策の取組事例

本市では、公共施設におけるCO₂フリーエネルギーへの切り替えや、公共施設への太陽光発電設備の導入、洋上風力発電の促進（写真右上：西海市江島沖における協議会）や、EVの利活用、LED照明の採用による省エネの促進、チューリッヒの森プロジェクト等による環境保全・地域共生、ゼロカーボンの啓発と情報発信（写真右上、左下：ZERO CARBON WEEK）、ゼロカーボンシティの実現に向けた教育（写真右下：高校生向け出前講座）など、様々な取組を進めています。



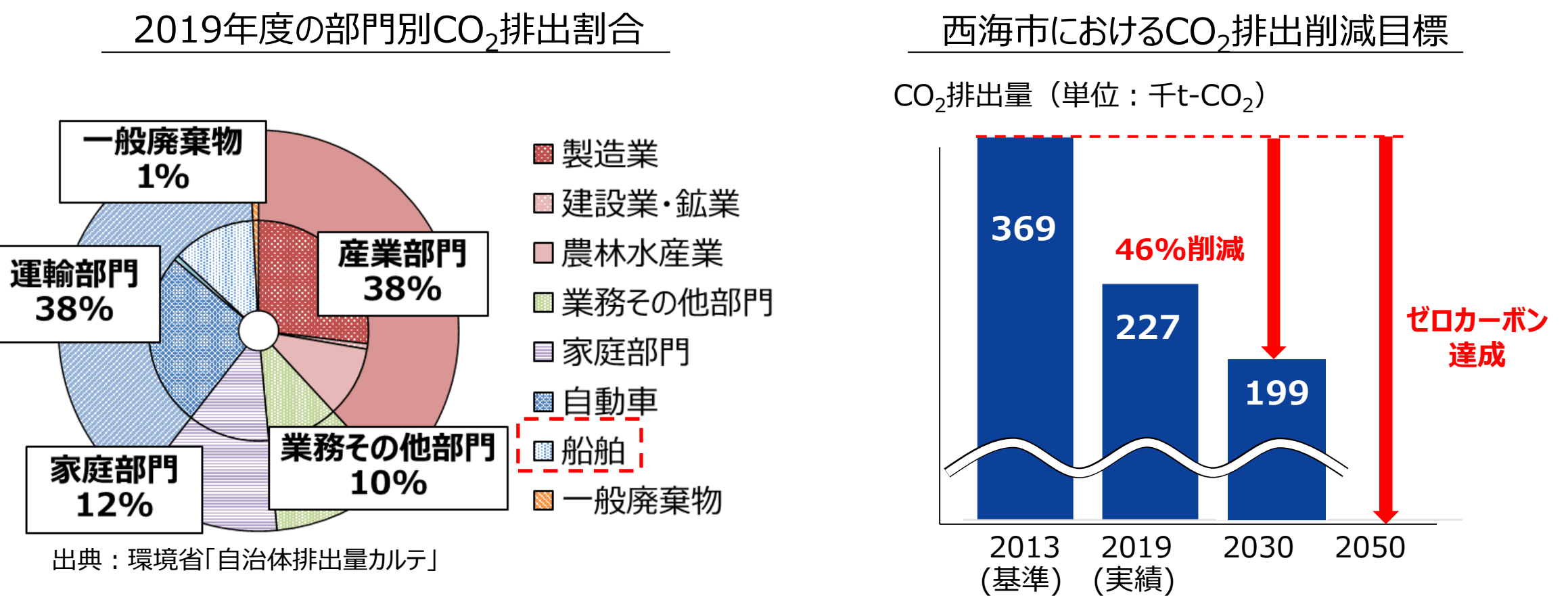
● 地球温暖化の影響

- ・ 長崎県の年平均気温は100年あたり1.5℃上昇しています。
- ・ 今後は、地球温暖化の進行に伴い、豪雨や猛暑リスクが更に高まることが予測されています。



● 西海市における温室効果ガス排出量の現状と目標

- ・ 西海市は他自治体と比較して運輸部門・産業部門からのCO₂排出量が多いのが特徴です。
- ・ 本市では、市域全体のCO₂排出量を2030年度には2013年度比で46%削減することを目標とします。長期的には2050年度までにゼロカーボンを目指します。



● 脱炭素シナリオ

- ・ 2030年までは省エネや太陽光発電の導入等、今すぐできる取組を中心に推進していきます。そして、2050年に向けてはゼロカーボンという目標に対して次世代燃料の利活用や洋上風力発電の導入等さらに取組を加速していきます。

脱炭素に向けて私たちができる省エネと再エネの具体的な取組例とCO₂削減見込み量

区分	取組例	CO ₂ 削減見込み量
省エネの推進	● 家電製品などを購入するときは、できるだけ省エネルギー型のものを購入する ● LED型照明機器の導入など省エネルギー化に取り組む ● 冷暖房は、運転基準（温度・湿度）に基づいて、適正な使用・運転管理を行い、冷房の質問目安は28℃、暖房の室温目安は20℃に設定することとし、省エネルギー化に努める …等	2030年度：▲25千t-CO ₂ 2050年度：▲63千t-CO ₂
再エネの導入	● 風力発電・太陽光発電設置者に各種の補助制度を紹介するなど、風力発電・太陽光発電の普及促進を支援する ● 風力発電・太陽光発電による電力の地産地消を推進する …等	2030年度：▲39千t-CO ₂ 2050年度：▲171千t-CO ₂

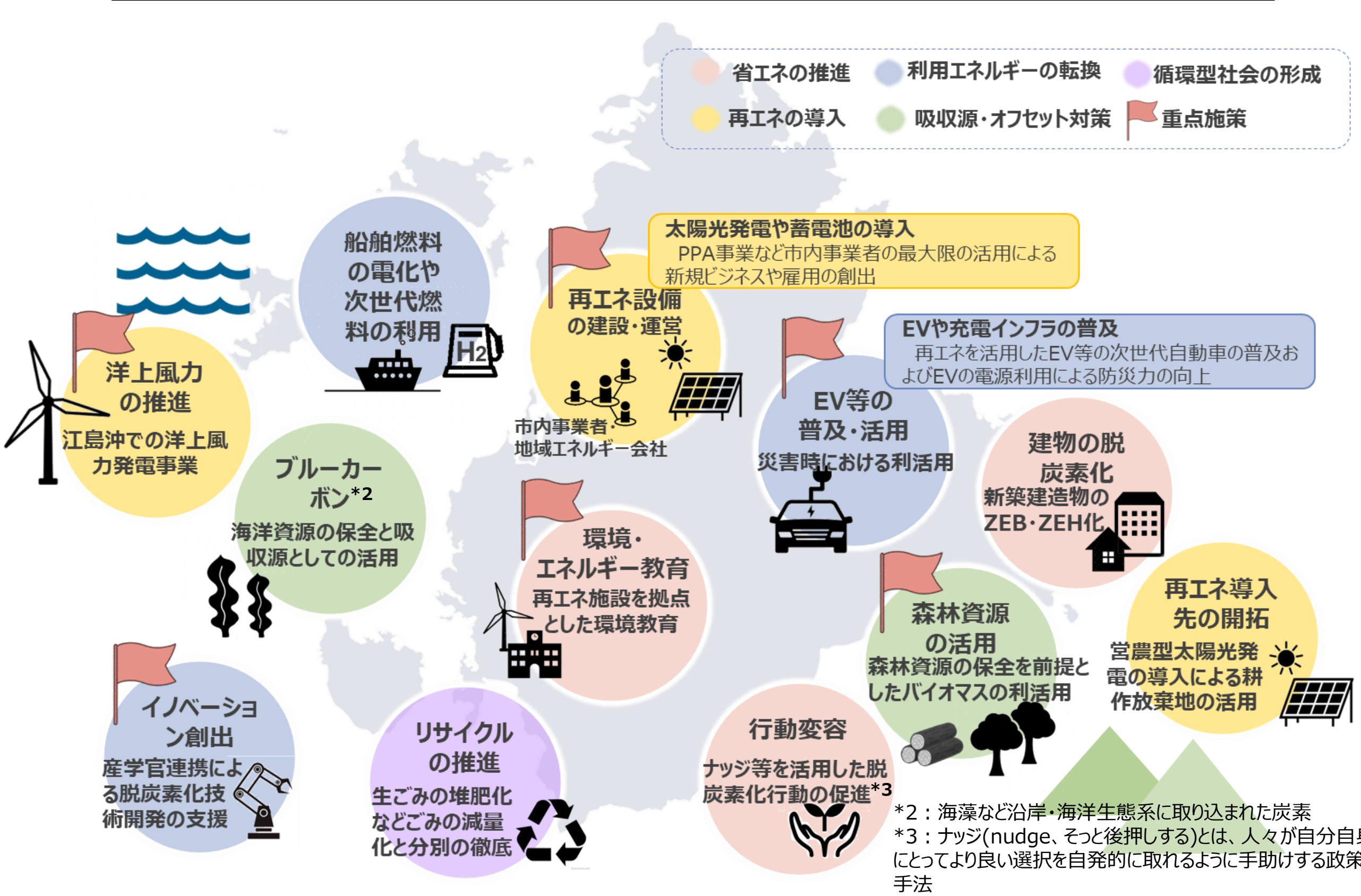
※CO₂削減見込み量は2013年度対比

● 将来ビジョン

- ・ 西海市の特徴である山と海の地域資源の利活用、再エネ導入や電力の地産地消、蓄電池やEV（電気自動車）等の脱炭素インフラ*1、建物の省エネ等により、脱炭素化を推進します。

*1：インフラストラクチャー。日々の生活を支える基盤。

将来ビジョンの具体的な取組



1 洋上風力の推進	西海市の地域資源である海の自然環境を利用した洋上風力発電事業の推進
2 イノベーション創出	次世代燃料船の開発推進、燃料使用量削減対策の取組等
3 EVなどの普及・活用	再エネを活用した次世代自動車の普及やEVの電源利用による防災力の向上
4 再エネ設備の建設・運営	市内事業者の最大限の活用による新規ビジネスや雇用の創出を推進
5 森林資源の活用	「緑の産業」創出など脱炭素社会に向けた産業と地域復興を推進
6 環境・エネルギー教育	ゼロカーボン達成を目指す2050年度に社会の主役となる現在の子供たちを中心とした取組

脱炭素に向けて私たちができるその他の具体的な取組例とCO₂削減見込み量

区分	取組内容例	CO ₂ 削減見込み量
利用エネルギーの転換	● 電気自動車等の低燃費車の導入・普及を推進する ● 近距離での移動は、徒歩や自転車での移動を実践する ● エコドライブの実践及び普及啓発を実施する …等	—
吸収源・オフセット対策	● 市産材を使った木造住宅の普及及び公共施設での市産材利用を推進する ● 海洋プラスチックを減らすため、レジ袋やペットボトル等のプラスチック製品の使用を減らすよう努める …等	2030年度：▲3千t-CO ₂ 2050年度：▲3千t-CO ₂
循環型社会の形成	● 家庭・事業所・店舗から出る生ゴミを堆肥化する処理を実践し、排出される生ゴミの減量化に努める ● できるかぎり過剰包装を辞退して、簡易包装の商品の購入を実践する …等	2030年度：▲1千t-CO ₂ 2050年度：▲2千t-CO ₂

● 具体的な取組と行動例

- ・ 2050年度の脱炭素社会に向けて、①エネルギー消費量の削減、②エネルギーの脱炭素化、③利用エネルギーの転換、④吸収源・オフセット対策*4、⑤循環型社会の形成の5つの区分で示した行動例に従って2030年度までに取組めます。

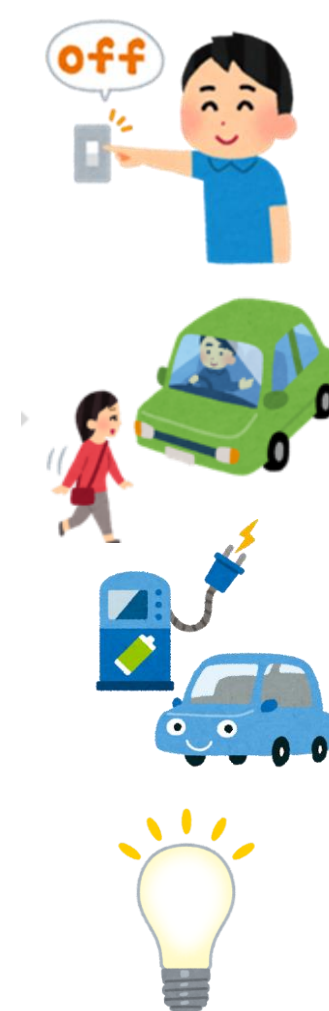
*4：削減努力を行ったうえで、どうしても排出される温室効果ガスを森林吸収や省エネ設備導入により埋め合わせること。

具体的な取組と行動例の枠組み

指標	1 エネルギー消費量の削減	2 エネルギーの脱炭素化	3 利用エネルギーの転換	4 吸収源・オフセット対策	5 循環型社会の形成
	CO2削減目標 25千t-CO ₂ 以上	CO2削減目標 39千t-CO ₂ 以上		CO2削減目標 3千t-CO ₂ 以上	CO2削減目標 1千t-CO ₂ 以上
指標を達成するための 具体的な取組と行動例	自発的もったいない運動	自然の恵みを生かした再生可能エネルギー源の利用促進	公共交通機関等の移動手段の魅力の増大と充実	みんなで作る健康な森づくりと持続可能で魅力ある農林業	地産地消の推進など自立した地域における循環型まちづくり
	子どもも大人も共に知り、共に学び、共に考える	温暖化対策に係る研究開発の支援		みんなで守る豊かな海と持続可能で魅力ある水産業 どこにでも緑あふれる生活	

脱炭素行動に関するチェック！

2050年に本市で脱炭素を実現するためには、私たちがそれぞれのライフスタイルに合わせた脱炭素行動を行うことによって家庭からCO₂排出量を削減することが非常に重要です。



- 家庭の白熱電球（54W）10灯の点灯時間を1日1時間短縮した場合、どのような効果があるでしょうか？

➤ 年間で電気197kWhの省エネ、CO₂削減量96kg-CO₂、約6千円の節約効果があります。

- ふんわりアクセル「eスタート*」した場合、どのような効果があるでしょうか？

*5秒間で20km/hに加速

➤ 年間でガソリン83.57Lの省エネ、CO₂削減量194.0kg-CO₂、約1万2千円の節約効果があります。

- ガソリン車からハイブリッド車、EVに変えた場合、どのくらい省エネ、節約効果があるでしょうか？

➤ ハイブリッド車に変えた場合は、年間でCO₂削減量497kg-CO₂、約3万3千円の燃料費節約効果があります。EVに変えた場合は、年間でCO₂削減量1,136kg-CO₂、約7万7千円の燃料費節約効果があります。

- 白熱電球からLEDランプに買い替えた場合、どの程度の省エネ効果があるでしょうか？

①20%、②40%、③60%、④80%以上

➤ 答えは「西海市地球温暖化対策実行計画」をご覧ください！

「西海市地球温暖化対策実行計画」掲載HP



出典：環境省「ゼロカーボンアクション30」、資源エネルギー庁「省エネポータルサイト」、一般社団法人家電製品協会「2020年度版スマートライフおすすめBOOK」

西海市の素晴らしい自然や豊かな地域資源を守りながら、ゼロカーボンシティ実現するために、現在推進している事業などを早期に知っていただき、ともに学び取り組んでいきましょう！

作成：西海市、西海市地球温暖化防止対策地域協議会
担当課：西海市役所 市民環境部 環境政策課 総務環境班
〒857-2302 長崎県西海市大瀬戸町瀬戸檜浦郷 2222番地
TEL. 0959-22-1133